

中村 博美 議員

保健福祉部長  
新型コロナウイルス感染症の

議員  
市単独事業として、高齢者への応援金の考えはあるか。

保健福祉部長  
条例が制定された平成3年には考えられなかった同居高齢者の孤独死、認知症による行方不明者などを受け、高齢者の見守りや生活支援の充実のため、平成30年度をもって長寿をたたえる事業に統合した。新たな施策として、緊急通報システムを強化した高齢者見守りサポート事業の開始、生活支援コーディネーターの配置、地域医療・介護関係者の情報の共有を支援する電子連絡帳JOSOSシステムの開始、認知症カフェの開設など、高齢者の生活に密着した各種事業に取り組んでいる。

議員  
常総市は、77歳、88歳、99歳の敬老祝金を廃止したが、その原資は何に使われたのか。



答弁

常総市単独支援として高齢者への配慮は

がんばるシニア応援チケットを  
検討している

影響を受けた地域経済の活性化を図るため、がんばるシニア応援チケット交付事業を実施する予定である。市内に住民登録がある65歳以上の高齢者に対し、1人3千円分のチケットを交付する準備を進めている。

議員  
新型コロナウイルス感染症対応  
市  
一部の高齢者ではなく、もっと広い高齢者に見守りや生活のサポートをするため敬老祝金を廃止した。今後、国の第2次補正が行われる予定であり、さらにしっかりと、がんばるシニアを応援する制度も検討していく。

議員  
敬老祝金の廃止には反対だったが、時代の流れにあった施策だと理解したので、市民の方々にも広く周知していきたい。

大澤 清 議員

指導課長  
特に低学年の児童生徒については、保護者が仕事に行っている時刻で実施していたので、参加率が低かったという報告があった。

議員  
また、家庭のネット環境に差があるという意見も多く聞いている。

教育委員会教育長  
調査をしたところ、参加率は、小学校で53・5%、中学校で68・1%であった。担任と児童生徒同士が互いの表情を見ることができ、登校へのステップとなった。

議員  
臨時休校中に行われた、オンラインホームルームの成果について聞きたい。



答弁

臨時休校後の子ども達の心のケアを！

しっかりと対応していく

議員  
今後の教育格差を生じさせないためにもモバイルWi-Fiの貸与、あるいは支給をすべきだと考える。  
長期にわたる臨時休校により、子どもたちの生活リズムが壊れる、友達と遊べないことへのストレス、学習への意欲の低下や運動不足など、様々な影響を受けける可能性が懸念される。子どもたち一人一人に丁寧に寄り添いケアをお願いしたい。また、保護者などが医療、施設に従事する子どもに対して、差別やいじめが行われたという報道があった。当市においてもこのようなことが起こらないよう十分な配慮をお願いする。

指導課長  
長期休校の中で、子どもたちにアンケートを実施した結果、虐待及びいじめなどについての回答はなかった。また、学校では医療従事者関係の子どもたちを把握しているが、いじめなどに関する報告は受けていない。

議員  
今後の教育格差を生じさせないためにもモバイルWi-Fiの貸与、あるいは支給をすべきだと考える。

議員  
臨時休校中に行われた、オンラインホームルームの成果について聞きたい。